

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ヴォーカルVI											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	結城安浩			実務経験	有	職種	歌手、ヴォイストレーナー				
授業概要											
俳優、声優に必要な技術や考え方を「Design a voice method」（声をデザインする方法）で習得する											
到達目標											
レッスンやトレーニングを通して、自分の特性を理解し、環境に柔軟に対応できる俳優、声優を目指す											
授業方法											
基礎トレーニングや反復練習を日常化し、目視できないメロディーやリズム、メッセージなどを抽象的に想像するだけでなく、具体的にグラフに表し可視化することで、イメージを具現化する											
成績評価方法											
授業やレッスン時の発表、トレーニング時の動きの理解度や成長度伝える											
履修上の注意											
毎日の継続的な基礎トレーニングをする。様々なジャンルの音楽鑑賞と研究する。 日々の生活の中で言葉や歌詞に対しての興味を持ち、伝えるという事を常に考える。											
教科書教材											
課題曲音源、歌詞、資料等											
回数	授業計画										
第1回	個別ミーティング（現在の能力、レッスンの目的、将来の目標の設定）										
第2回	バウンストレーニング（演奏中の修正能力の強化）母音フォームの構築、舌根トレーニング（正確なコントロール）										
第3回	オンビートとアフタービートののプレス（16分音符までコントロール）										
第4回	ボリュームコントロールとロングトーン、クレッシェンドとデクレッシェンド、ビブラートコントロール										
第5回	トーンコントロール（舌根の使い方）体内イコライザーを作る										
第6回	ポジションとしての仮想メロディートレーニング										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ヴォーカルVI	
第7回	歌詞の読解、言葉や想いの伝え方と子音と母音の関係性
第8回	文節と文章の捉え方とシーン設定、朗読、母音朗読
第9回	メロディーに対してのポジションを含めたプレスプラン構築、プレス歌い
第10回	母音リズム読み、リズム読み（キャラクターに合わせたフォームコントロール）
第11回	母音歌い、歌唱、ルバート歌唱
第12回	母音歌い、歌唱、ルバート歌唱
第13回	ルバートからフルサイズ歌唱
第14回	ルバートからフルサイズ歌唱
第15回	まとめ